Japanese Journal of Ichthyology
Vol. X, Nos. 2/6
September 30, 1963

魚　類　学　雑　誌
第10巻　第2/6号
1963年9月30日発行

瀬戸内海で未記録のホシヨウジについて

溝　上　昭　男

(広島県立宮島水族館)

On the pipefish, *Trachyrhamphus punctatus* (KAMOHARA), new to the fish-fauna of the Inland Sea of Seto

Akio MIZOKAMI

(Miyajima Aquarium)

蒲原 (1952) は高知県御畳瀬市場から得たヨウジウオ科 *Syngnathidae* の1新種をホシヨウジ *Yozia punctata* KAMOHARA として記載したが，松原 (1955) はホシヨウジの特徴より，これをヒフキヨウジ属 *Trachyrhamphus* に編入した。その後，本間 (1959) は山形県鼠ケ関沖から，蒲原 (1960) は高知県沖ノ島から本種を記録した。

著者は 1962 年に広島県草津魚市場から本種の雄 1 尾を得たので，その形態について報告する。

本文を草するに当り，終始有益なご助言をいただいた水産大学校松井 魁博士，ご校閲をいただいた同校高井 徹博士，文献を贈られた高知大学蒲原稔治博士に深謝する。

産地および外部形態

著者の得たホシヨウジ *T. punctatus* は 1962年2月24日に山口県大島郡沿岸のエビ漕網の漁獲物の中より見出したものである。標本はまだ体色も明瞭な生鮮な個体であった。

この標本と，薄原 (1952) および本間 (1959) の標本の形態的特徴を一括して第1表に示した。

標本の形態的特徴は，原記載および本間 (1959) の報告とよく一致するが，本標本は胸鰭基底が著しく膨隆し，とくに異なる点は，頭部に2本，第1，3，5，7，9，11の軀幹体輪および第1，3，4，5，7，8，9，12の尾部体輪の上隆起線上に1対づつ，また第4，8，11，12の軀幹体輪の中央隆起線上部にも，さらに第2，3，6，6，7～12の尾部体輪の下隆起線にそれぞれひげ状の微細な附属突起を具えることで，原記載や本間 (1959) では，皮膚に突起や附属物はないことが記載されている。このほか，尾部の第1～14体輪の腹面には育児嚢を有し，その下隆起線の辺縁は鋸歯縁となっている。

育児嚢の形態はヨウジウオ属 *Syngnathus* と同様であるが，尾部長に対する育児嚢の大きさは，尾部の約1/3を占め，オクヨウジ *U. rikuzenius* (尾部の約1/4) のそれより長く，ヒフキヨウジ *T. serratus* (尾部の約1/2)，ヨウジウオ *S. schlegeli* (尾部の約1/2) に比して短い (第1図)。

Table 1. Comparison of the morphological characters in the present specimen with those in the holotype.

Items \ Locality	Kochi (KAMOHARA; 1952)	Yamagata (HONMA; 1959)	Oosima-gun (Present specimen)
Total length	16.6	12.8	14.3
Number of dorsal fin ray	16	18	18
Number of anal fin ray	3	3	3
Number of pectoral fin ray	14	14	14
Number of caudal fin ray	8	9	8
Body rings	14+39	14+36	14+35
Trunk into head	2	—	2
Tail into head and trunk	1.7	—	1.7
Snout into eye	4.4	—	4.1
Head into eye	8.4	—	7.3
Head into depth	4.2	—	4.6
Total into depth	32	—	36

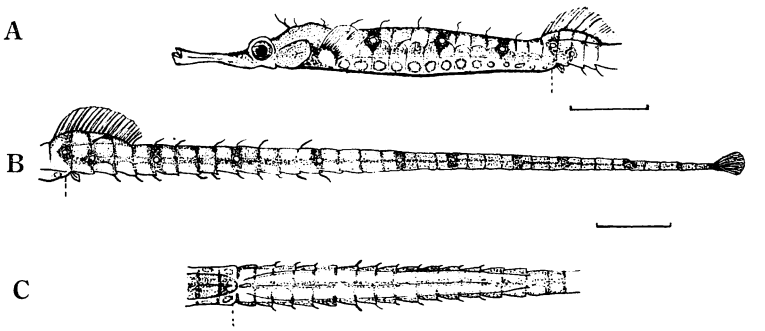

Fig. 1. The shapes of the pipefish, *Trachyrhamphus punctatus* (KAMOHARA). A, Lateral view of head and trunk; B, Lateral view of tail; C, Ventral view of tail. Scale indicates 10 mm.

体　　色

色彩的な特徴は，蒲原 (1952)，本間 (1959) らの記載によく一致するが，本標本では，第 2～3，第 6～7，第 10～11，第 14 の軀幹体輪の接合部に鮮明な空色を呈する眼点状の小斑点があり，その周辺にも朱色のごく微細な小斑点が散在する。さらに，第 1～2，第 4～5，第 7～8，第 12～13，第 16～17，第 19～20，第 26～27，第 30～31 の尾部体輪の接合部にそれぞれ空色を呈する眼点状の小斑点を有する。これらの斑点はホルマリン漬標本では，すべて消失する。軀幹体輪の下側方は体色より淡い淡黄色を呈し，各体輪には暗色で縁取られた淡色の円斑が鮮かである。また，肛門部は淡色を呈する。

内海産ヨウジウオ亜科 *Syngnathinae* に属する種類はヨウジウオ *S. schlegeli* とヒフキヨウジ *T. serratus* の 2 種であったが[5,7]，高井と溝上 (1961) はオクヨウジ *U. rikuzenius* を追加し，更に本種を加えて 4 種が明らかとなつた。

要 約

瀬戸内海でもホシヨウジ *T. punctatus* が産することを明らかにした。

1) 外部形態の特徴は第1表に示した通りである。

2) 尾部の第1～14体輪の腹面に育児嚢を有し，その下隆起線は鋸歯縁となっている。

3) 体幹および尾部の体側には鮮明な空色の色調を呈する眼点状の小斑点を有する。

4) 皮膚には多くのひげ状の附属突起を有する。

参 考 文 献

1) 本間義治 1959: 新潟県魚類目録補訂 (VI). 魚雑, vii (5/6), 139-144.

2) KAMOHARA, T. 1952: Additions to the offshore bottom-fishes of Prov. Tosa, Japan, with descriptions of two new species. Res. Rep. Kochi Univ., i (6), 1-4.

3) 蒲原稔治 1961: 高知県沖ノ島及びその附近の沿岸魚類. 高知大学学研報, 第9巻, 自然科学, I (3), 15-30.

4) ——— 1961: 続原色日本魚類図鑑. 保育社, 大阪.

5) 片山正夫・藤岡 豊 1958. 大島郡近海の魚類 (大島郡学術調査報告 14). 山口大学農学部学術報告, 第9号, 1147-1168.

6) 松原喜代松 1955: 魚類の形態と検索. I, 石崎書店, 東京.

7) 高井 徹・溝上昭男 1959: ヨウジウオの生殖発生および稚魚について. 水講研報, viii (1), 85-89.

8) ———・——— 1961: オクヨウジの形態および生態に関する2・3について. 水講研報, xi (1), 79-84.

Résumé

In 1952, KAMOHARA described a new species of *Syngnathidae, Yozia punctata*, collected from the fish-market at Mimase in Kochi Prefecture. But this species was included in *Trachyrhmphus* by MATSUBARA (1955) from its morphological characters. Since then, the occurrence of this species off Nezumigasaki in Yamagata Prefecture and off Okinoshima in Kochi Prefecture were reported by HONMA (1959) and KAMOHARA (1960), respectively.

The author wishes to report here the occurrence of this species and its morphological characters, because this species is very rare but he collected fortunately a male specimen from Kusatsu Fish-market, Hiroshima Prefecture.

The present specimen has the following morphological characters:

1) D. 18; A. 3; P. 14; C. 8; body-rings 14+35. Head 2 in trunk, head and trunk 1.7 in tail without caudal. Eye 4.1 in snout, 7.3 in head. Depth 4.6 in head, 36 in total length.

2) This specimen has a brood-pouch with serrated ventral keel at the body rings 1～14.

3) This specimen has clear blue eye-like spots around the trunk and on the sides of the tail.

4) Thus, the morphological characters of the present specimen showed somewhat close resemblance to those of the already reported ones. But the most remarkable difference of the present specimen from the already reported ones is the presence of the dots of the head, trunk and tail.